

令和7年度洋光台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

洋光台は住宅地（集合住宅と戸建て）と洋光台駅周辺の商業地からなり、高齢化率は31.9%と磯子区内で一番高い町となっています。高齢者世帯（単身世帯を含む）の割合も高く、消費者被害も多いことから、見守り支援など地域での支えあいの体制が課題となっています。地域活動が活発なエリアですが、コロナ禍やメンバーの高齢化もあって、解散・中止に至った活動もあります。また、エレベーターのない集合住宅や坂道も多く、高齢者や障害者の行動制限、脚力低下・フレイルの要因にもなっています。一方、集合住宅等には若い世代も多く、子育て支援や世代間交流の機会も必要となっています。身近な福祉・保健の拠点としての役割を果たすためには、地域との連携が欠かせないため、積極的に地域に出向いて様々な活動支援に取り組むことで、地域との良好な関係を築きます。また、職員間・部門間の連携のもと、地域課題の解決、多様な個別相談対応にも力を入れていきます。新たな担い手の育成と活動創出が課題であると捉えており、そのための仕掛けや働きかけに取り組んでいきたいと考えています。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	五職種で協力し、自治会やサークル活動、地域のイベントの運営・会議等に関わる中で、積極的に状況把握・人材発掘に努めます。地域活動の後方支援やニーズへの対応を進め、新たな活動へつながるよう働きかけます。
■	<input type="checkbox"/>	ポッチャを取り入れた自主活動が継続されるよう、自治会やUR生活支援アドバイザーと協力してフォローアップ講習を巡回開催し、活動の後方支援を行います。
<input type="checkbox"/>	■	「洋光台こどもフェスタ」を開催します。参加側だけではなく学齢期の子どもたちが準備段階から運営に関われるような機会を創出します。場づくりを通じて、学校・自治会・企業などとの連携のもと、地域全体での担い手育成を進めます。
<input type="checkbox"/>	■	スイッチONいそご地区別計画策定にむけて、ワークショップの準備から当日の進行などに区・区社協と連携して取り組みます。また、広報誌などで策定の進捗などを取り上げます。支援チームの取り組みが有意義なものとなるよう、協働して取り組みます。
■	<input type="checkbox"/>	地域活動団体に対して、現在の活動がチームオレンジの一員であることの周知、理解を促進していきます。チームオレンジリーフレットを活用し、様々な機会でも広く住民や専門職・関係機関に周知します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント